

樽前山

1 概況

火山活動はやや活発な状態が続いています。

A 火口やB 噴気孔群ではこれまで同様高温の状態が続いていると推定されます。

噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

2 噴煙の状況

今期間の各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね100m以下で推移しました。

3 地震および微動の発生状況

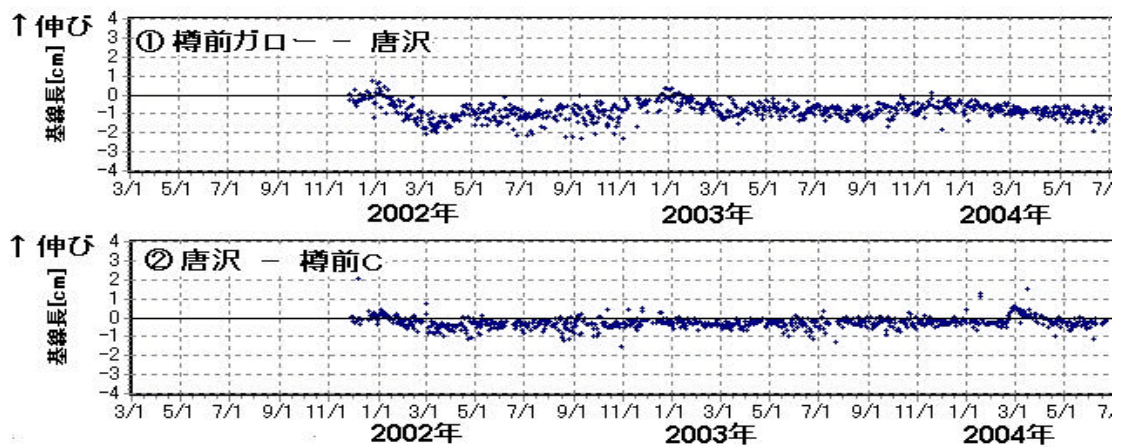
今期間の火山性地震の回数は、1日あたり0~5回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(C点)

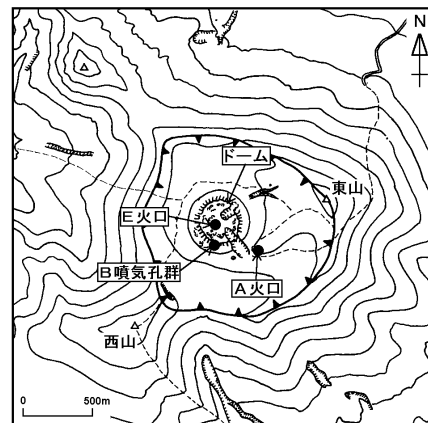
2003~2004年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	66	54	73	113	151	283	58	37	10	19	77	34
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

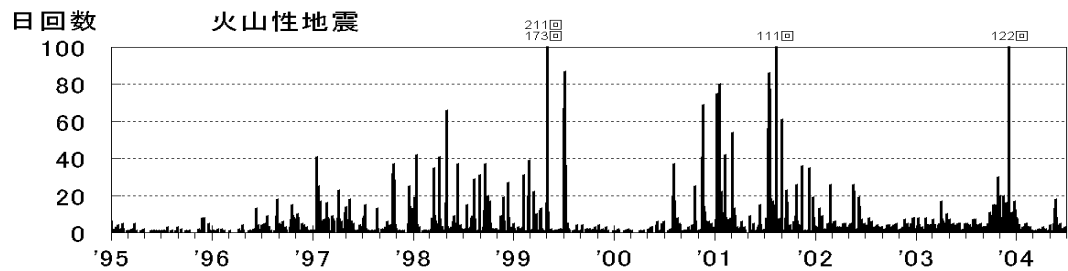
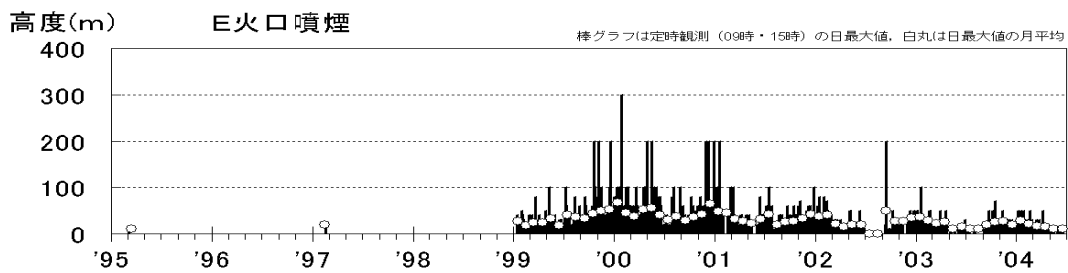
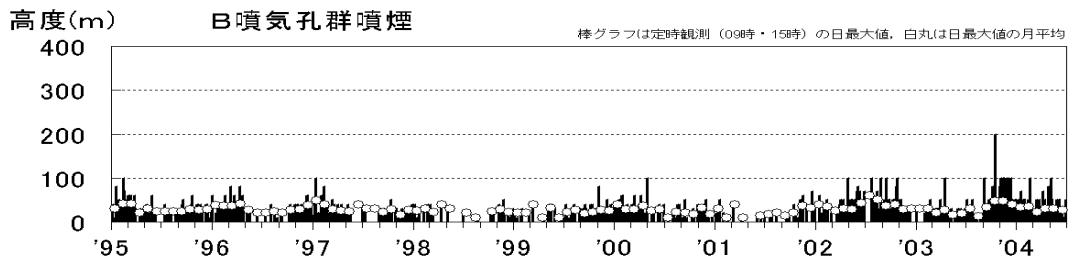
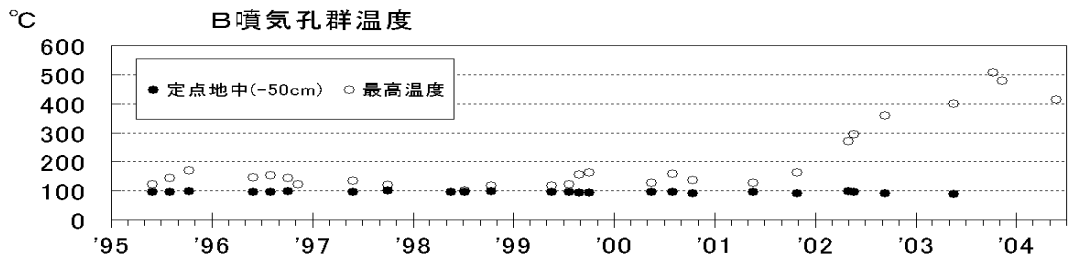
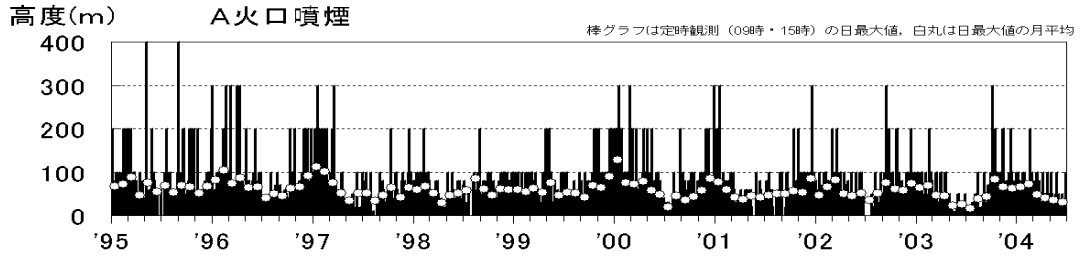
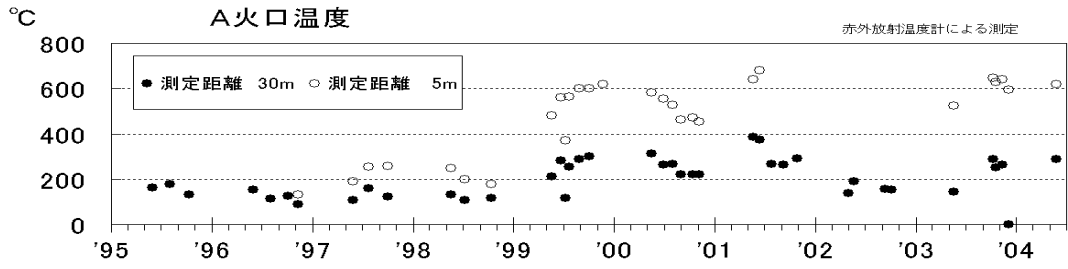
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。

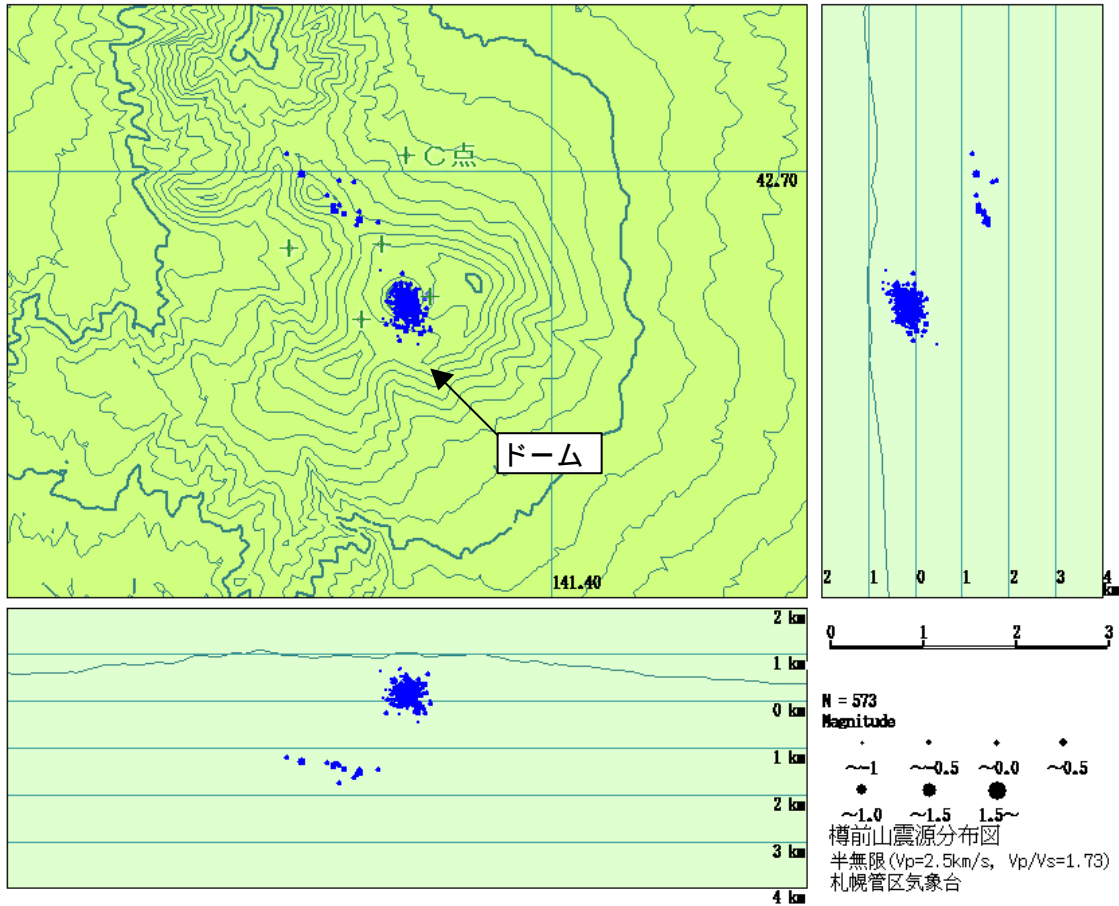


基線長変化(2001年11月14日~2004年6月30日)





最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2004年6月30日)



樽前山の震源分布図(丸印:震源、+印:地震観測点)

今期間(2004年6月1日~6月30日)に求まった震源はありませんでした。

青丸は前期間までの1年間(2003年6月1日~2004年5月31日)に求まった震源を示しています。

過去の震源分布はほとんどが山頂ドーム直下の浅部(海拔付近)に集中しています。ドームの北西約1.5km付近に見られる震源は、十勝沖地震後の2003年9月28~29日にかけて一時的に発生した地震です。